

一般社団法人特殊鋼倶楽部 平成27年度事業報告

自 平成27年4月 1日

至 平成28年3月31日

一般情勢と倶楽部活動の概要

平成27年度の日本経済は、政府の経済政策や日銀による金融緩和を背景に、全体としては緩やかな回復基調で推移しましたが、年度後半には、個人消費の伸び悩み、企業の設備投資への慎重姿勢等弱さもみられました。海外経済は、米国や欧州においては景気の回復が続きましたが、中国をはじめとするアジア地域では景気が減速し、昨年末以降の円高等と併せ、日本経済の景気が下押しされるリスクがあり、先行き不透明な状況が続いています。

こうした状況の中で、平成27年度の特特殊鋼生産（熱間圧延鋼材ベース）は、前年度比8.7%減の18,819千トンと減少に転じました。国内向け特特殊鋼生産（熱間圧延鋼材ベース実績見込み推計値）は、前年度比5.3%減の12,774千トンとなっています。需要の大宗を占める自動車産業は、国内四輪車生産台数が919万台と2年連続で前年度を下回りました。また、車種構成では乗用車の普通車は2年ぶりの前年度プラスとなる一方、小型車及び軽自動車は前年度マイナスとなりました。特に、軽自動車は前年度比21.1%減と大幅に落ち込みました。特特殊鋼使用比率の大きいトラック及びバスについては、前年度に比べ、トラックは3年ぶりのマイナス、バスは2年連続のプラスとなりました。

平成27年度の輸出向け特特殊鋼生産（熱間圧延鋼材ベース実績見込み推計値）は、中国の景気減速等により、前年度比17.8%減の5,892千トンと500万トン台まで減少する見込みです。また、鋼材輸入は、1,041千トンと前年度7.0%増と100万トン台に達しました。中国からの微量ボロン添加鋼輸入は中国政府の輸出税還付撤廃に伴い減少しましたが、代わりにクロム等を微量添加した合金鋼の輸入量が増加しました。

こうした状況を踏まえ、特特殊鋼倶楽部としては、会員への的確かつ充実としたサービス向上を図り、選択と集中を念頭に財源の有効活用と有益で効率的な事業を確実に推進するとともに、業界を巡る国内外の諸問題に迅速に対応し、その解決に努めて参りました。

特に、平成27年度は、新役員体制の活動重点項目を、①特特殊鋼のPRの強化、②製造業者会員と販売業者会員の連携・協力強化、③国際問題への対応とすることを理事会で承認し、事業を行いました。①については、広報誌「特特殊鋼」、講演、展示会等の場で特特殊鋼のPR活動を進めました。②については、会長・副会長等間や理事会等において、製造業者側及び販売業者側双方の情報提供及び意見交換を行いました。③については、海外委員会における調査等で海外市場開拓の参考情報を提供するとともに通商問題の対応強化を図りました。

総務・経理面では、業務改革を継続しました。具体的には、支部におけるフレックスタイム制度導入等の就業規則、その他各種規程の改正、経理会計システムの支部も含めた整備などを図りました。

I 定款第4条第1号事業：特殊鋼商品知識の普及及び啓発

1. 広報事業

(1) 広報誌「特殊鋼」の発行年6回（27年度事業は27年5月号から28年3月号まで）

平成27年1月号 「特殊鋼の高強度化」-グローバル競争を支える日本の技術（発刊済み）

＜倶楽部レポート＞特殊鋼最終消費需要の変遷について

3月号 鍛造と特殊鋼（発刊済み）

＜倶楽部レポート＞自動車用特殊鋼鋼材の使用実態調査について

平成26年1-12月の特殊鋼貿易の概要

「ものづくり・商業・サービス革新補助金」第一次公募開始

5月号 よくわかる特殊鋼の製造プロセス（発刊済み）

＜倶楽部レポート＞ロシア東欧の特殊鋼需給動向調査について

7月号 やさしく知る特殊鋼の熱処理（発刊済み）

9月号 特殊鋼を支える分析・検査技術（発刊済み）

＜倶楽部レポート＞メキシコ・中南米の特殊鋼需給動向調査について

11月号 特殊鋼の溶接技術の動向（発刊済み）

＜倶楽部レポート＞鉄鋼技術に関連した経済産業省の主な取組み（経産省）

平成28年1月号 特殊鋼メーカー・流通のグローバル展開（発刊済み）

3月号 特殊鋼鋼材仕様に関するやさしい解説（発刊済み）

＜倶楽部レポート＞海外日系自動車メーカーの自動車部品に係る特殊鋼調達動向調査…中国と東南アジアを中心に

特殊鋼関連記号集改訂版発行について

- 1) 各号で＜倶楽部レポート＞（各種調査結果の概要紹介や、生産、貿易統計のまとめなど、原則として事務局が執筆する特殊鋼に関わるレポート）を掲載するよう努めた。レポート内容については、基本的には事務局が提案し、編集委員会で審議し、指導・助言することを平成27年9月11日の編集委員会で決定した。
- 2) 「業界の動き」については、事務局で業界紙を抜粋してまとめてきたが、より正確な内容とするため、鉄鋼新聞社、産業新聞社と契約し、提供してもらった記事を平成27年5月号より掲載した。
- 3) 内容の充実及び読者満足度向上を目指し、平成27年9月号より、特殊鋼誌アンケートを開始した。アンケート集計結果を編集委員会に報告し、編集方針の参考としている。
- 4) 平成27年度は、特殊鋼誌は定期購読260部、書店経由販売64部、海外定期購読5部、合計で約330部が有料販売、200部会員配布、寄贈又は資料交換で500部程

度を無料配布している。500部のうち50部は、大学、高専、都道府県の工業技術センターのうち、寄贈の希望を確認したところに5月号から新たに配布している。

5) 「特殊鋼のPR」を特殊鋼倶楽部活動重点項目としたいとの藤岡会長の方針を踏まえ、平成28年1月号では、執筆想定読者を、従来の流通の若手ではなく、日系ユーザーとし、特殊鋼のPRとなるような特集とすることが9月11日の編集委員会で決定され、全会員に執筆希望の有無を確認した。販売業者会員からの希望が少なかったため、編集委員会で指定した会員に寄稿依頼した。

6) 過去に発刊し好評ながら品切れとなっていた「特殊鋼の技術と用語のやさしい解説」（過去の特殊鋼誌に連載形式で掲載）及び「特殊鋼技術データのやさしい読み方」（「特殊鋼」第50巻第5号（2001年5月号）別冊）について、11月4日の編集委員会で検討し、増刷し3月31日より再販を開始した。

(2) ホームページによる広報

会員専用ページに、26年度市場開拓調査委員会報告書（「海外日系自動車メーカーの自動車部品に係る特殊鋼調達報告書」）の説明会資料、26年度海外委員会報告書（「メキシコ・中南米の特殊鋼需給動向」）の説明会資料、特殊鋼統計月報4月号～3月号（予定）を掲載した。

公開ページについては、特殊鋼をよりPRしていくことを目指し、トップページを改訂した（Special Steel of Choice、特殊鋼は最先端技術の『粋』、特殊鋼倶楽部のキャラクター等）。広報誌「特殊鋼」の平成21年1月号から27年3月号までの全文PDFを掲載するとともに、よりアクセスしやすくした。27年5月号から28年3月号は目次のみ掲載した。「教材・記号集」ボタンを新たに設け、その中で「特殊鋼関連記号集」については全文PDFを掲載し、パソコンやタブレット端末等で材質記号等を検索することが可能となった。新人社員教育向け教材「特殊鋼の活躍する世界」についても全文PDFを掲載した。

(3) 「特殊鋼ガイド」の内容見直し

「特殊鋼ガイド」の内容見直しについては、平成24年に中断したままとなっていたが、9月11日の編集委員会で、特殊鋼ガイド編集委員会を再編し編集委員会に附属するWGに位置づけなおし、「決定的におかしいところは直し、JIS等古いものはアップデートする」との方針の元で小改訂する方向付けで作業を再開することを決定した。

2月10日に特殊鋼ガイド編集委員会を開催し、「特殊鋼ガイド初級編」について上記方針で改定作業を進めること、改訂作業の分担及び今後のスケジュール（28年12月に「特殊鋼ガイド初級編」改訂版完成を目指す）、平成28年度事業計画案及び予算案を審議・決定した。

3月29日の平成27年度第4回理事会で特殊鋼ガイド編集委員会を編集委員会に附属する特殊鋼ガイド編集WGへと位置づけなおすことを承認した。

(4) 報道発表・広報活動

藤岡会長就任記者会見を7月23日に、佐久間流通委員会委員長記者会見（「特殊鋼流通に係る鉄鋼産業取引適正化ガイドライン説明会・意見交換会」後記者会見）を7月22日に行った。特殊鋼倶楽部主催の各種説明会・講演会・工場見学会等について報道関係者に周知した。

特殊鋼倶楽部PRポスター（A1サイズ）を、事務局から製造業者会員等に対し、各社のHP等からの図・写真の選定・掲載許可を取り付け、特殊鋼倶楽部会員企業の特殊鋼を用いた製品の写真・図、キャッチフレーズ「Special Steel of Choice」、特殊鋼倶楽部オリジナルキャラクターで構成し作成した。28年1月の新年賀詞交換会で掲示した。また、特殊鋼倶楽部会員企業へ配布した。

2. 市場開拓調査事業

(1) 調査WG

27年度調査事業テーマ「自動車の技術変化に伴う特殊鋼使用実態調査 第5回電気自動車編」について、電気自動車を解体し、特殊鋼の原単位調査（ガソリン車及びハイブリットとの比較）をするため、「電気自動車の原単位」の調査を日鉄住金総研㈱へ委託した。

10月29～30日に調査WGを室蘭で開催し、新日鐵住金㈱室蘭製鉄所内での自動車解体視察及び調査中間報告会を実施した。

3月2日の調査WGで、調査最終内容を検討し、調査報告書を取りまとめた。

(2) 講演会WG

1) 26年度調査事業の報告説明会

以下のとおり3地区で開催した。内容の充実及び会員満足度向上を目指し、本年度より、市場開拓調査事業報告説明会の聴講者に対するアンケートを実施した。その後の説明会・講演会で、アンケート結果を踏まえ改善・対応を図っている。

演題 「海外日系自動車メーカーの自動車部品に係る特殊鋼調達動向調査」報告書の解説

講師 神鋼リサーチ㈱ 産業戦略情報本部 調査一部 上席主任研究員 野尻 英一 氏

開催日 平成27年6月16日 東京地区（聴講者75名）

6月18日 大阪地区（聴講者82名）

6月25日 名古屋地区（聴講者77名）

2) 「平成27年度自動車産業の動向」の説明会

以下のとおり3地区で開催した。

演題 「平成27年度自動車産業の動向」の解説

講師 日本自動車工業会 総務統括部企画・調達担当副統括部長 持田弘喜 氏

開催日 平成27年6月19日 東京地区（聴講者50名）

6月25日 名古屋地区（聴講者99名）

6月26日 大阪地区（聴講者62名）

3) 「自動車とメタル」講演会

講演会WGを书面審議で9月に行い、「自動車とメタル」を講演テーマとして選定し実施した。

演題 「自動車とメタル」

講師 一般社団法人日本メタル経済研究所 統括主任研究員 新井 憲一 氏

主任研究員 大山 好正 氏

主任研究員 江崎 慎二 氏

開催日 平成28年2月12日 東京地区（聴講者51名）

(3) 特殊鋼の新製品・新技術説明会

6月22日に開催した市場開拓調査委員会で特殊鋼PR展示アドホックWGを発足させることを決定し、以下のようにアドホックWG会合を開催した。

- ・ 9月8日 高機能金属展主催者リードエグジビションジャパンを招き、会社及びメタル大阪の概要説明を受け、展示会への出展について議論した。
- ・ 10月7日 アドホックWGを大阪で開催し、メタル大阪で、会員会社の出展、非鉄業界団体の出展、ものづくりワールド、基調講演を視察した後、主催者と打ち合わせした。
- ・ 10月21日 全会員に対して、書面にて、①協会ブースへの協力、②個社展示（1小間を細分割し低費用で出展可能化）の希望、③専門技術セミナー講演協力の意向を確認し、アドホックWGの书面審査を経て出展内容を決定した。

第3回高機能金属展（2016年4月6～8日、東京ビッグサイト）にて、協会ブース1小間（6m×3m）の展示、技術セミナーでの講演（5講演）の準備及び会員ブース（1小間を細分割）出展の支援を行った。全会員に、同金属展の招待状を郵送するとともに、特殊鋼倶楽部として高機能金属展に出展することを特殊鋼倶楽部ホームページ及び広報誌「特殊鋼」2016年3月号に掲載した。

(4) 特殊鋼関連記号集の改訂版作成、発行

平成26年度事業であった特殊鋼関連記号集の改訂版が完成し、6月に会員をはじめ関連業界へ冊子を配布した。利便性の向上を図るため、ネットでの検索を容易にすべく、当倶楽部ホームページへ掲載した（上記1.（2））。

3. 人材確保並びに育成に関する事業

(1) ビジネスパーソン研修講座の実施

11月2日に開催した人材確保育成委員会での検討を踏まえ、平成27年度のビジネスパーソン研修はテーマを「楽しむ営業活動養成講座」として以下のとおり開催した。

開催日 平成28年2月9日、10日

講師 日鉄住金総研(株)ビジネスソリューション部 小島 主 氏

参加者 32名(男性30名、女性2名)うち全特協分が13名

(2) 新入社員教育向け教材「特殊鋼の活躍する世界」の発行

平成26年度事業であった新入社員向け教材「特殊鋼の活躍する世界」が完成し、12月に会員をはじめ関連業界へ冊子を配布した。特殊鋼関連記号集改訂版と同様に、利便性の向上を図るため、ネットでの閲覧、抽出を容易にすべく、当倶楽部ホームページへ掲載した(上記1.(2))。

(3) 人材確保事業の推進

11月2日に開催した人材確保育成委員会において、学生向けの業界PR用パンフレット・映像コンテンツ作成を、一般向けの分かりやすいコンテンツ作成に秀でた業者に委託して行う方針が合意された。1月19日に、「業界紹介パンフレット等製作委託先選考会」(人材確保育成委員会定村委員長、佐久間委員、事務局)を開催し、委託予定先を選考した。28年度に作成予定。

首都大学東京より、「鉄鋼業界」についての講演依頼があり、以下のとおり講演した。

「首都大学東京 就職支援のための業界セミナー 鉄鋼 ―ファインスチールへの道―」

開催日 平成28年1月7日

場 所 首都大学東京(約50名 全学年の学生対象としたキャリア教育だが、就職を目前にした学部3年生、修士1年生の参加が多い)

講 師 特殊鋼倶楽部専務理事 小澤 純夫

(4) 特殊鋼及び関連産業の工場見学会

以下の3回の工場見学を実施した。

① 9月30日 (株)不二越富山事業所及び日本高周波鋼業(株)富山製造所(参加者数42名)

② 10月19日 JAXA(宇宙航空研究開発機構)調布航空宇宙センター・同飛行場分室及び(株)IHI昭島事業所IHIそらの未来館(史料館)・瑞穂工場(参加者数26名)

③ 2月29日 大同特殊鋼(株)君津工場及び新日鐵住金(株)君津製鐵所(参加者数45名)

Ⅱ 定款第4条第2号事業：特殊鋼に関する諸統計の収集及び提供

1. 特殊鋼の生産・需給及び特殊鋼関連産業の統計

(1) 特殊鋼鋼材需給月報（経産省鉄鋼課所管の承認統計の受託統計調査事業）の集計

27年度も継続して特殊鋼鋼材需給月報調査を受託し、結果を経済産業省へ毎月報告した。

調査結果は経済産業省のホームページに毎月公表される「鉄鋼需給統計月報」に掲載。

経済産業省に対し、総務省への承認統計の申請時に従来の全国ベース集計結果の他に、東京、名古屋、大阪等地区別の集計の実施を働き掛けた。

(2) 特殊鋼統計月報の作成、発行

特殊鋼及び主要需要産業の活動状況を網羅する特殊鋼統計月報を作成し、会員会社、関係の官庁及び団体に毎月1回配布した。

2. 特殊鋼輸出・輸入の統計

(1) 特殊鋼輸出船積実績

通関統計に基づき特殊鋼輸出船積実績表を作成し、会員会社に毎月1回配布した。

(2) 海外特殊鋼統計表

海外特殊鋼統計として以下の資料を作成・配布しているが、データ収集の方法が変更されるため、この機会に内容の見直しを海外委員会専門部会で実施した。

米国のステンレス鋼板輸入・輸出実績表については、6月発信中止を決定した。

- ① 欧州ミルの東南アジア向けステンレス冷延鋼板輸出実績表…年 4回
- ② ステンレス鋼（鋼板、棒鋼、線材）の世界流通統計……………年 1回
- ③ 中国のステンレス鋼板輸入実績表……………年12回
- ④ 韓国、台湾の中国向けステンレス鋼板輸出実績表……………年 4回
- ⑤ ステンレス鋼板（熱延、冷延）仕向国別輸出実績表……………年12回
- ⑥ 鉄鋼に関する紛争案件一覧表……………年12回

(3) 輸入統計表

輸入モニタリングの一環として、統計解析システムを活用して、関税協会から購入した貿易統計データから、揚げ地別が判別できるような特殊鋼輸入統計表を作成し、会員に毎月1回配布した。

Ⅲ 定款第4条第3号事業：特殊鋼の貿易保険輸出包括保険に関する業務

1. 貿易保険包括保険特約の締結

『貿易一般保険・包括保険』の保険契約者として、平成27年度について、4月1日付けで独立行政法人日本貿易保険との間に包括保険の特約を締結した。

2. 包括保険付帯業務の実施

上記包括保険特約締結に伴う保険引き受け等の業務及びこれに付随する業務を毎月度行った。

3. 貿易保険付保の実績は以下のとおり。

(単位：件、百万円)

	単位	平成 26 暦年 (A)	平成 27 暦年 (B)	B/A (%)
受付件数	件	36,900	35,240	95.5
輸出契約金額	百万円	491,092	463,602	94.4
保険金額	〃	392,874	370,882	94.4
貿易一般保険	〃	294,655	278,161	94.4
増加費用保険	〃	98,219	92,721	94.4
支払保険料	〃	195.5	178.6	91.4
貿易一般保険	〃	157.2	141.0	89.7
増加費用保険	〃	38.3	37.6	98.2

IV 定款第4条第4号事業：特殊鋼の生産、消費等の調査研究

1. 国内調査事業

(1) 工具鋼、ステンレス棒鋼、構造用鋼の地区別需給動向調査の実施

① 工具鋼

流通委員会工具鋼分科会は幹事会を4回開催（5月8日、8月20日、11月18日、2月17日）し、特殊鋼関連統計資料の説明及び需要先関係業界の動向の紹介を行った。また、メンバー企業のアンケート結果等を基に事務局で作成した資料を毎月配布した。

② 構造用鋼

流通委員会構造用鋼分科会は幹事会は開催しなかったが、メンバー企業のアンケート結果等を基に事務局で作成した資料を毎月配布した。

③ ステンレス棒鋼

流通委員会ステンレス棒鋼分科会は幹事会は開催しなかったが、メンバー企業のアンケート結果等を基に事務局で作成した資料を毎月配布した。

(2) 特殊鋼流通に係る鉄鋼産業取引適正化ガイドライン説明会・意見交換会の実施

経済産業省が発表している「鉄鋼産業取引適正化ガイドライン」の第2回改定WG（平成26年12月～平成27年2月）に特殊鋼倶楽部が参加し、特殊鋼倶楽部としては、流通委員会工具鋼部会、構造用部会、ステンレス棒鋼部会のメンバー企業に、経済産業省鉄鋼課作成のアンケート票に基づくアンケート調査を行い、その結果を経済産業省鉄鋼課に報告した。

7月22日に、特殊鋼流通に係る鉄鋼産業取引適正化ガイドライン説明会・意見交換会を流通委員会委員長主催で開催し、経済産業省鉄鋼課からの改定されたガイドラインの説明を頂いた後、特殊鋼倶楽部のアンケート調査結果概要に基づいて意見交換を行った。

2. 需要見通し説明会

(1) 経済産業省の特殊鋼鋼材の毎四半期需要見通し説明会の実施 年4回

流通委員会の活動として経済産業省の特殊鋼需要見通し説明会を以下のとおり開催した。

① 「平成27年度第1・四半期の特殊鋼需要見通し」

開催日 平成27年4月2日 東京地区（聴講者43名）

講師 経済産業省 製造産業局鉄鋼課課長補佐 成瀬 輝男 氏

開催日 平成27年4月16日 大阪地区（聴講者53名）

講師 経済産業省 製造産業局鉄鋼課計画係長 市丸 純 氏

② 「平成27年度第2・四半期の特殊鋼需要見通し」

開催日 平成27年7月6日 東京地区（聴講者36名）

講師 経済産業省 製造産業局鉄鋼課課長補佐 成瀬 輝男 氏

③ 「平成27年度第3・四半期の特殊鋼需要見通し」

開催日 平成27年10月5日 東京地区（聴講者45名）

講師 経済産業省 製造産業局鉄鋼課課長補佐 成瀬 輝男 氏

開催日 平成27年10月15日 大阪地区（聴講者44名）

講師 経済産業省 製造産業局鉄鋼課課長補佐 成瀬 輝男 氏

開催日 平成27年10月7日 名古屋地区（聴講者70名）

講師 経済産業省 製造産業局鉄鋼課計画係長 佐藤 淳一 氏

④ 「平成27年度第4・四半期の特殊鋼需要見通し」

開催日 平成27年12月24日 東京地区（聴講者33名）

講師 経済産業省 製造産業局鉄鋼課課長補佐 成瀬 輝男 氏

3. 海外調査事業

(1) 説明会

① 26年度海外市場調査事業の報告説明会

演題 メキシコ・中南米の特殊鋼需給動向調査報告書の解説

講師 神鋼リサーチ(株) 産業戦略情報本部 調査一部 上席主任研究員 野尻 英一 氏

開催日 平成27年6月9日 (聴講者60名)

② 安全保障貿易説明会

国際的な安全の維持・確保における、通常兵器の過度な蓄積の防止と大量破壊兵器等の不拡散を目的とした安全保障貿易管理の最近の状況について日本鉄鋼連盟、ステンレス協会との共催により説明会を開催した。

演題 「安全保障貿易管理」

講師 経済産業省 貿易経済協力局 貿易管理部 安全保障貿易検査官室

安全保障貿易審査課 鈴木 政雄 氏

安全保障貿易検査官室 佐藤 長光 氏

開催日 平成27年7月2日 (聴講者112名)

内容の充実及び会員満足度向上を目指し、本年度より、説明会について、聴講者に対するアンケートを実施した。アンケート後の説明会・講演会で、アンケート結果を踏まえ改善・対応を図った。

(2) 27年度海外市場調査事業

27年度は海外市場調査テーマとして「海外特殊鋼メーカーの現状調査」を選定し、グローバルな文献調査を日鉄住金総研(株)に、中国の現地調査を神鋼リサーチ(株)に委託した。

2月24日の海外委員会専門部会において最終内容を検討し、調査報告書を取りまとめている。

(3) 顧問弁護士を通じた海外通商動向調査

米国、カナダ、中国の海外通商動向調査のため鉄連、線材製品協会と共同で弁護士をリテイン(特殊鋼倶楽部の負担率は5%)し、顧問弁護士から得られる国際鉄鋼貿易問題及び対日AD提訴に係わる情報を会員企業に報告した。

(4) 特殊鋼貿易問題対応負担金に係わる業務

中国の高性能ステンレス継目無鋼管AD調査についてWTOでの提訴に係る対応を経済産業省、鉄鋼連盟と協力して行った(特殊鋼倶楽部の負担率は業界負担の10%)。

(5) 輸出入統計品目表改正への対応

2016年輸出入統計品目表の財務省統合案に対する要望のとりまとめ、提出等の業務処理にあたった。28年1月より、輸入統計品目表において以下の変更が施行された。

- ① 普通鋼の熱延広幅帯鋼並びに冷延広幅帯鋼が「高張力鋼板」と「その他」に細分化
- ② その他合金鋼の熱延広幅帯鋼が「酸洗」と「その他」に細分化
- ③ マンガン鉍の二酸化マンガン鉍とその他が「マンガン鉍 39%超」に統合

(6) 個別通商問題

「ベトナムにおける半製品、棒鋼、線材セーフガード調査」

ベトナム商工省・競争庁が半製品、棒鋼、線材に対するセーフガード調査を開始したことに対し、海外委員会委員会社に輸出対象有無及び数量について調査依頼した。経済産業省鉄鋼課に対し、実績数量あるも、指定された成分のうちいずれかの要件を満たしている製品のため、調査対象除外であるとの調査結果を報告した。

(7) 通商問題の検討強化

昨今世界的に通商摩擦問題が多発していることを受け、特殊鋼倶楽部事務局が他団体等から得た情報やベストプラクティスを紹介していくこと及び、現時点で個社対応あるいは不本意ながら受け入れている特殊鋼通商問題（強制規格問題、輸入規制等）を共有し対応可能か検討していくとの方針を11月20日に開催した海外委員会において承認し、専門部会での情報共有及び検討を開始した。また、これに伴い、海外委員会専門部会委員を3社拡大した。

3月10日に開催した海外委員会において、ステンレス条鋼分科会の設置及びステンレス鋼板分科会熱延幹事会の廃止を承認し、特殊鋼の通商問題の一義的な相談窓口機能の整備、新規分科会設置・ステンレス協会との連携による通商摩擦未然防止対応の実施等を決定した。

V 定款第4条第5号事業：特殊鋼に関する内外関係機関等との交流及び協力

1. 安全保障貿易情報センターとの交流及び協力

27年度の安全保障輸出管理委員会活動に参加した。

27年度第1回委員会（6月11日に開催）及び第2回委員会（3月15日に開催）に出席した。

2. ステンレス協会

ステンレス鋼板を中心とする貿易問題に対応するため、ステンレス協会の公正貿易委員会に出席し情報交換を行った（4月13日、4月27日、6月8日、6月29日、8月5日、9月25日、10月22日、11月12日、12月7日、1月13日、2月10日、3月16日）。

3. 日本鉄鋼連盟

特殊鋼での個別通商問題の未然防止、早期対応に備え、普通鋼を含む鉄鋼全般の通商問題状況を把握するために、日本鉄鋼連盟の拡大通商WGに出席し情報交換を行った（5月19日、7月7日、8月4日、9月8日、10月6日、11月10日、12月15日、1月19日、2月16日、3月15日）。

4. 日本貿易振興機構（JETRO）との交流及び協力

日本貿易振興機構（JETRO）からの各種情報を入手し、会員企業へ報告した。

VI 定款第4条第6号事業：その他本会の目的を達成するために必要な事業

1. 新年賀詞交換会の開催

平成28年1月5日（火）10時からホテルニューオータニにて恒例の平成28年の新年賀詞交換会を開催した。参加者は約700名であった。藤岡会長の挨拶、来賓を代表して経済産業省製造産業局福島洋審議官の挨拶、勝副会長の乾杯の音頭の後、賀詞交換を行った。

2. 賃借料の削減

経費削減の観点から、東京本部を鉄鋼会館の1階スペースへ全日本特殊鋼流通協会とともに8月1日に移転した。この結果、9月より約39万円（税抜）の経費削減となっている。移転費用が発生したため経費削減効果は28年度から見込まれる。

また、名古屋支部を全日本特殊鋼流通協会名古屋支部とともに9月5日に愛知県名古屋市中区栄2-9-26（ポララ名古屋ビル内）に移転した。この結果、10月より約7万円の経費削減となっている。移転費用が発生したため経費削減効果は28年度から見込まれる。

3. 経理システムの改善

平成26年度経理については、公認会計士の指導を受け、平成20年公益法人会計基準に則った様式とし、また、名古屋・大阪両支部の全ての収入予算を全体予算に統合するなど、特殊鋼倶楽部の経理システムを全面的に見直しし、改善及び効率化が図られた。

しかし、平成26年度後半に見直したため、勘定科目の昨年度・本年度間、本部・各支部間の相違が生じている。このため、引き続き、公認会計士の指導を受け、本部の経理システムを整備するとともに、9月15日に名古屋支部、9月25日に大阪支部を公認会計士とともに訪問するなど、支部の経理システム整備も実施した。併せて、各種業務処理の方法についても、法人のガバナンス強化の観点から見直しを行った。

VII 総務関連活動

1. 総会

- ・ 第34回定時総会を平成27年5月29日に開催
正会員総数125社のうち定足数(2分の1以上64社)を満たし103社(うち書面での
評決56社)出席のもと、下記議案について審議の結果、全員異議なく原案通り承認した。
第1号議案：平成26年度事業報告について
第2号議案：平成26年度決算報告について
第3号議案：役員を選任について

2. 理事会

- ・ 平成27年度第1回理事会(書面審議)を5月14日に開催(全員出席)。
下記議案について審議の結果、全員異議なく原案通り承認した。
第1号議案：平成26年度事業報告について
第2号議案：平成26年度決算報告について
第3号議案：第1回総会招集について
- ・ 平成27年度第2回理事会を年5月29日の総会直後に開催した(理事34名中26名が
出席)。
藤岡理事を会長に、佐久間理事、勝理事及び富永理事を副会長に、小澤理事を専務理事に
選任した。
- ・ 平成27年度第3回理事会を10月22日に開催した(理事34名中19名が出席、監事
3名中3名が出席)。
下記議案について審議の結果、全員異議なく原案通り承認した。
第1号議案：平成27年度事業の進捗状況について
第2号議案：平成27年度会計中間報告について
第3号議案：平成27年度事業の今後の展開について
第4号議案：規程(就業規則等)の改定について
第5号議案：新役員体制の活動重点項目について
- ・ 平成27年度第4回理事会を3月29日に開催した(理事34名中23名が出席。監事3
名中2名が出席)。
下記議案について審議の結果、全員異議なく原案通り承認した。
第1号議案：平成27年度事業報告について
第2号議案：平成27年度決算見込みについて

第3号議案：平成28年度事業計画について

第4号議案：平成28年度予算について

第5号議案：委員会の組織変更について

第6号議案：平成28年度貿易一般保険包括保険特約の締結

第7号議案：新規入会（正会員）承認について

3. 運 営 委 員 会

- ・ 平成27年度第1回運営委員会、総務・財務分科会合同委員会（書面審議）を平成27年5月7日に開催した。

下記議案について審議の結果、全員異議なく原案通り承認した。

第1号議案：平成26年度事業報告について

第2号議案：平成26年度決算報告について

- ・ 平成27年度第2回運営委員会を平成27年10月22日に開催した。

下記議案について審議の結果、全員異議なく原案通り承認した。

第1号議案：平成27年度事業の進捗状況について

第2号議案：平成27年度会計中間報告について

第3号議案：平成27年度事業の今後の展開について

第4号議案：規程（就業規則等）の改定について

第5号議案：新役員体制の活動重点項目について

- ・ 平成27年度第3回運営委員会を総務・財務分科会と合同で平成27年3月23日に開催した。下記議案について審議の結果、全員異議なく原案通り承認した。

第1号議案：平成27年度事業報告について

第2号議案：平成27年度決算見込みについて

第3号議案：平成28年度事業計画について

第4号議案：平成28年度予算について

第5号議案：委員会の組織変更について

第6号議案：平成28年度貿易一般保険包括保険特約の締結

4. 総 合 委 員 会

- ・ 委員会及びグリーン調達問題WGは開催していない。
- ・ 労働安全衛生法・安全データシート交付についての周知依頼を、9月10日に全会員に対し連絡した。会員から説明会開催要望があったため、平成27年度第2回運営委員会、平成27年度第3回理事会の承認を得て、全日本特殊鋼流通協会、全国ステンレスコイルセ

ンター工業会との共催により説明会を実施した。

演題 「労働安全衛生法・安全データシート（SDS）」

講師 日本冶金工業(株) グループ環境・知的財産部長 藤田 篤史 氏

開催日 平成27年12月4日（聴講者71名）

VIII 支 部 活 動

1. 名古屋支部

(1) 第46回定時総会（平成27年6月8日）

(2) 第1回運営委員会（平成27年4月27日）

(3) 部会

①構造用鋼部会……4回 ②工具鋼部会……4回 ③ステンレス鋼部会……4回

④企画部会……1回

(4) 講演会

① 「一流の人から学んだもの ～真のリーダーシップとは～」

講師 フリーアナウンサー 石川 顕 氏

開催日 平成27年6月8日（聴講者53名）

② 「東海のマクロ景気と倒産動向の見通し」（三団体共催）

講師 (株)帝国データバンク 情報部長 中森 貴和 氏

開催日 平成27年11月18日（聴講者55名）

③ 「最近のステンレス鋼について（主に二相ステンレス鋼）」（三団体共催）

講師 新日鉄住金ステンレス(株) 常務執行役員商品開発部長 竹下 哲郎 氏

開催日 平成28年2月23日（三団体共催）（聴講者150名）

(5) 説明会

① 「平成27年度の自動車工業の見通し」（三団体共催）（再掲）

講師 日本自動車工業会 総務統括部企画・調達担当副統括部長 持田弘喜 氏

開催日 平成27年6月25日（聴講者99名）

② 「海外日系自動車メーカーの自動車部品に係る特殊鋼調達動向調査」（三団体共催）

講師 神鋼リサーチ(株) 産業戦略情報本部 調査一部 上席主任研究員 野尻 英一 氏

開催日 平成27年6月26日（聴講者77名）

③ 「平成27年度第3・四半期の特殊鋼需要見通し」（三団体共催）（再掲）

講師 経済産業省 製造産業局鉄鋼課計画係長 佐藤 淳一 氏

開催日 平成27年10月7日 (聴講者70名)

(6) 見学会

① 工場見学 (三団体共催)

見学先 台湾 (中国鋼鐵、國瑞汽車)

開催日 平成27年11月12日～14日 (参加者19名)

② 優良企業 (三団体共催)

見学先 伊那食品工業(株)北丘工場

開催日 平成27年11月6日 (参加者24名)

(7) 新入社員研修 (二団体共催)

開催日 平成27年4月16日 (参加者60名)

① 工場見学「愛知製鋼株式会社 知多工場」

② 講義その1「特殊鋼の基礎知識」

講師 愛知製鋼株式会社 永山宏智 氏

③ 講義その2「社会人としての基礎マナー」

講師 キャプラン株式会社 近藤ゆり子 氏

(8) 中堅社員研修 (二団体共催)

テーマ 「問題解決力向上講座」

講師 (株)名南経営コンサルティング 山田亮太 氏

開催日 平成27年10月22日 (参加者35名)

(9) 管理職研修 (二団体共催)

テーマ 「管理者に必要な計数管理力と財務の基礎知識」

～成果を出し続けるために数字を読み活用する能力を高めよう！～

講師 (株)名南経営コンサルティング 山田亮太 氏

開催日 平成27年11月20日 (参加者39名)

(10) 若手及び女性社員研修 (二団体共催)

テーマ 「大人のワインの楽しみ方」

講師 日本ソムリエ協会 ワインアドバイザー 秋葉 良子 氏

開催日 平成28年2月25日 (参加者48名)

(11) 平成28年新年賀詞交換会 (平成28年1月7日) (三団体共催) (参加者438名)

2. 大阪支部

(1) 第46回定時総会 (平成27年6月10日)

(2) 平成28年新年賀詞交換会(平成28年1月5日)(三団体共催)

(3) 運営委員会

① 第1回運営委員会(平成27年5月22日)

② 第2回運営委員会(平成28年2月15日)

(4) 特殊鋼三団体責任者会議

① 第1回特殊鋼三団体責任者会議(平成27年8月18日)

- ・ 講演会他本年共催事業検討
- ・ 各団体秋季事業のすり合わせ他

② 臨時特殊鋼三団体責任者会議(平成27年11月16日)

- ・ 大阪支部事務局フレックス勤務体制について

③ 第2回特殊鋼三団体責任者会議(平成27年12月7日)

- ・ 賀詞交換会他本年共催事業検討
- ・ 各団体年明け事業のすり合わせ他

(5) 講演会

① 「平成27年度自動車工業見通し」(二団体共催)(再掲)

講師 日本自動車工業会 総務統括部企画・調査担当副統括部長 持田 弘喜 氏

開催日 平成27年6月26日(聴講者62名)

② 「ニュースで伝えられないこの国の真実」(三団体共催)

講師 キャスター 辛坊 治郎 氏

開催日 平成27年12月7日(聴講者108名)

(6) 説明会

① 「平成27年度第1四半期の特殊鋼需要見通し」(二団体共催)(再掲)

講師 経済産業省 製造産業局鉄鋼課計画係長 市丸純 氏

開催日 平成27年4月16日(聴講者53名)

② 「海外日系自動車メーカーの自動車部品に係る特殊鋼調達動向調査」(二団体共催)

講師 神鋼リサーチ(株) 産業戦略情報本部 調査一部 上席主任研究員 野尻 英一 氏

開催日 平成27年6月18日(聴講者82名)

③ 「平成27年度第3・四半期の特殊鋼需要見通し」(二団体共催)

講師 経済産業省 製造産業局鉄鋼課課長補佐 成瀬 輝男 氏

開催日 平成27年10月15日(聴講者46名)

IX 総務事項

1. 会員の異動

1) 入会

平成28年3月29日の平成27年度第4回理事会において、新日鐵住金ステンレス株式会社（製造業者会員）の入会を承認した。海外委員会のみ入会。資格取得日は平成28年4月1日付。

2) 退会（資格喪失日）

平成27年9月30日付 ステンレスパイプ工業株式会社（製造業者会員）

平成28年3月31日付 日輪鋼業株式会社（販売業者会員）

3) 設立時及び過去5年の会員数の推移は次表の通り（注）カッコ内は地方会員で内数

	正 会 員		
	メーカー	販売業者	合計
創 立 時	31社	125社（41社）	156社
平成22年度末	28社	107社（40社）	135社
平成23年度末	27社	107社（40社）	134社
平成24年度末	25社	105社（40社）	130社
平成25年度末	25社	102社（40社）	127社
平成26年度末	24社	102社（40社）	126社
平成27年度末	23社	101社（40社）	124社

2. 公認会計士による助言、指導（平成27年4月～28年3月）

柳原公認会計士から業務、経理実務について助言、指導を受けた。

3. 役員の状況 28年3月末現在の役員名は、次表の通り。

役 員 名 簿
(社名は50音順) 平成28年3月31日現在

役 名	氏 名	会 社 名	役 職 名
会 長 (代 表 理 事)	藤 岡 高 広	愛 知 製 鋼 (株)	取 締 役 社 長
副 会 長	富 永 真 市	山 陽 特 殊 製 鋼 (株)	常 務 取 締 役 東 京 支 社 長
同	佐 久 間 貞 介	佐 久 間 特 殊 鋼 (株)	代 表 取 締 役
同	勝 登	三 井 物 産 (株)	執 行 役 員 鉄 鋼 製 品 本 部 長
専 務 理 事 (代 表 理 事)	小 澤 純 夫	(一 社) 特 殊 鋼 倶 楽 部	事 務 局 長
理 事	後 藤 隆	(株) 神 戸 製 鋼 所	常 務 執 行 役 員
同	川 真 一	J F E スチール (株)	常 務 執 行 役 員
同	中 川 智 章	新 日 鐵 住 金 (株)	常 務 執 行 役 員 棒 線 事 業 部 長
同	石 黒 武	大 同 特 殊 鋼 (株)	代 表 取 締 役 副 社 長
同	土 屋 敦	日 新 製 鋼 (株)	常 務 執 行 役 員 名 古 屋 支 社 長
同	鈴 木 卓	日 本 金 属 (株)	専 務 取 締 役
同	久 留 島 靖 章	日 本 高 周 波 鋼 業 (株)	専 務 取 締 役
同	橋 之 口 真	日 本 冶 金 工 業 (株)	取 締 役 常 務 執 行 役 員 営 業 本 部 長
同	平 木 明 敏	日 立 金 属 (株)	取 締 役 代 表 執 行 役 員 常 務
同	青 山 信 一	青 山 特 殊 鋼 (株)	代 表 取 締 役 社 長
同	増 井 平	浅 井 産 業 (株)	取 締 役 社 長
同	塔 下 辰 彦	伊 藤 忠 丸 紅 鉄 鋼 (株)	取 締 役 兼 常 務 執 行 役 員
同	今 西 清 裕	伊 藤 忠 丸 紅 特 殊 鋼 (株)	代 表 取 締 役 社 長
同	井 上 寿 一	井 上 特 殊 鋼 (株)	代 表 取 締 役 社 長
同	岸 本 則 之	(株) U E X	代 表 取 締 役 社 長
同	川 松 康 吉	岡 谷 鋼 機 (株)	代 表 取 締 役 副 社 長
同	永 瀬 哲 郎	佐 藤 商 事 (株)	代 表 取 締 役 社 長
同	池 田 道 雄	三 興 鋼 材 (株)	代 表 取 締 役 社 長
同	石 崎 順	J F E 商 事 (株)	執 行 役 員 ステンレス・特 殊 鋼 本 部 長
同	瀬 戸 川 健 二	住 友 商 事 (株)	理 事 輸 送 機 金 属 製 品 本 部 長
同	中 川 陽 一 郎	中 川 特 殊 鋼 (株)	取 締 役 社 長
同	野 村 有 一	日 鉄 住 金 物 産 (株)	取 締 役 常 務 執 行 役 員
同	三 上 聰 彦	ノ ボ ル 鋼 鉄 (株)	取 締 役 社 長
同	湊 義 明	野 村 鋼 機 (株)	代 表 取 締 役 社 長
同	芹 澤 浩	阪 和 興 業 (株)	取 締 役 副 社 長 執 行 役 員
同	平 井 俊 夫	(株) 平 井	代 表 取 締 役 社 長
同	高 木 清 秀	(株) メ タ ル ワ ン	常 務 執 行 役 員
同	古 賀 康 友	(株) メ タ ル ワ ン 特 殊 鋼	取 締 役 社 長
同	藤 原 久 芳	ヤ マ ト 特 殊 鋼 (株)	代 表 取 締 役 社 長
監 事	関 根 博 士	三 菱 製 鋼 (株)	取 締 役 鋼 材 事 業 部 長
同	北 信 一	大 洋 商 事 (株)	代 表 取 締 役 社 長
同	根 来 龍 之	早 稻 田 大 学	ビ ジ ネ ス ス ク ー ル デ ィ レ ク タ ー